

保護者の皆様

大阪府立豊中支援学校

校長 平井 晋也

令和元年度 学校教育自己診断集計結果について(報告)

学校教育自己診断にご協力いただきまして、ありがとうございました。

集計結果が出ましたので以下の通りご報告いたします。

また、授業アンケートを実施している中学部と高等部の生徒に対しても、今年度より「学校生活アンケート」を実施しましたので、合わせてご報告いたします。

資料として、「令和元年度 学校教育自己診断 教員・保護者集計 評点順一覧」と「令和元年度 生徒向け 学校生活アンケート 評点順一覧表」も同時にお配りしていますので、ご覧ください。

1. 評点の計算方法について

A:よく当てはまる B:やや当てはまる C:あまり当てはまらない D:全く当てはまらない

計算式 → $\{(A \times 3) + (B \times 2) + (C \times 1)\} \div (\text{回答実数} \times 3) \times 100$

実回答者全員が A にすると 100 点となる。

2. 回収率について

		小学部	中学部	高等部	担任外	全校
【教職員】	配付数	41	47	49	18	155
	回答率	97.6%	100%	98.0%	100%	98.7%
【保護者】	配付数	107	128	133		368
	回答率	71.0%	64.6%	60.2%		64.9%
【生徒】	配付数		33	63		96.0%
	回答率		90.9%	88.8%		89.6%

3. 集計結果について

①上位の 5 項目の評点

【保護者】

- 2 子どもは楽しく学校に通っている。-----92.6
- 3 子どもは、安心して通学バスを利用している。(通学バスで通学している児童・生徒のみ) -----92.3
- 8 学校では、子どもの個人情報適切に扱っている。-----92.1
- 19 学校は、学校給食を通して食育の推進に取り組んでいる。-----91.9
- 11 個別の指導計画には、子どもの学習のねらいや内容が分かりやすく記載されている。-----91.0

【教職員】

- 19 わたしは、児童・生徒に人権意識をもって接し、体罰やいきすぎた指導は行わない。-----91.9
- 26 わたしは、校内でいじめ事象等が発生した場合に報告や連携を含めてきちんと対応することができる。-----82.8
- 25 わたしは、校内におけるいじめ事象等の発生を未然に防ぐために常に努めている。-----82.3
- 24 わたしは保健室や保護者と連携して児童・生徒の健康の保持・増進に努めている。-----81.8
- 6 学部会や学年会で、課題の検討や児童・生徒の情報共有ができています。-----81.8

【中学部生徒】

- 4 あなたは、給食は、好きですか 88.9
- 10 先生は、自分や友だちを大切にすることを、教えてくださいか-----86.2
- 12 先生は、あなたが困っていることがあれば、話を聞いてくれますか -----86.2
- 17 先生は、地震や火災などが起こった場合、どうしたらよいか教えてくださいか -----85.7
- 1 あなたは、学校に行くのが、楽しいですか -----85.1

【高等部生徒】

- 2 あなたは友だちと、楽しく過ごせていますか-----93.2
 15 先生は、将来（進路のことなど）について、教えてくださいか -----87.8
 4 あなたは、給食は、好きですか -----87.7
 12 先生は、あなたが困っていることがあれば、話を聞いてくれますか -----87.2
 8 先生は、私たちがよく分かるように、教えてくださいか -----86.8

②下位の5項目の評点

【保護者】

- 16 学校は、子どもが学習しやすいように施設・設備が整えられている。-----76.2
 1 学校は、教育方針を分かりやすく伝えている。-----82.0
 21 学校は、いじめ等対策会議などで、いじめ等の事象発生時は組織的に対応する体制ができています。-----83.6
 5 授業内容は、子どもに合うように工夫されている。-----84.4
 10 学校は、保護者の悩みや相談に適切に応じています。-----85.9

【教職員】

- 1 学校運営に、教職員の意見や提案が反映されるシステムになっている。-----51.0
 2 教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされている。-----55.9
 14 わたしは、PTA 活動をよく理解している。-----56.1
 3 教科研などを通じて、各教科で教材などに関して学部をこえて情報交換ができています。-----62.7
 7 児童・生徒の支援や指導について、学部間の引継ぎや連携がうまく行われている。-----64.6

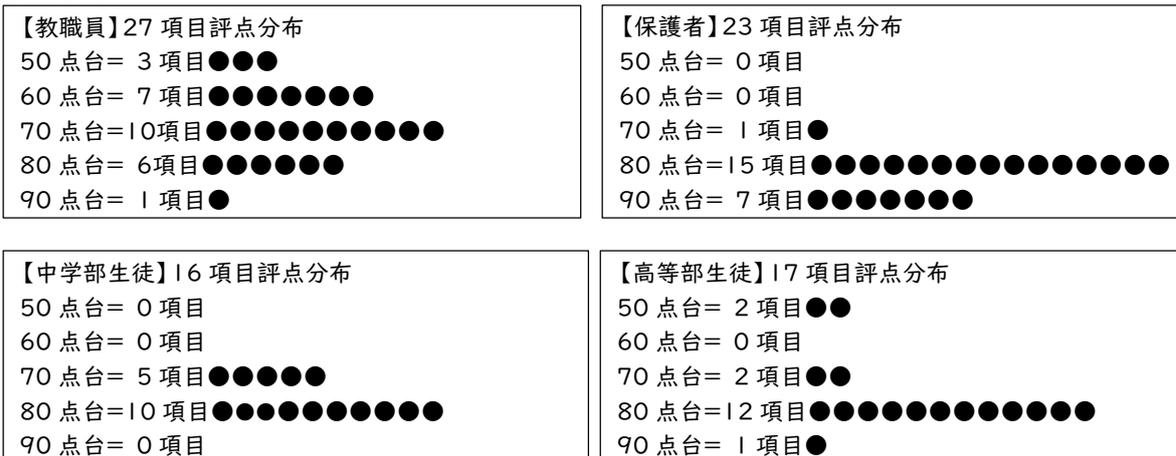
【中学部生徒】

- 3 あなたは、担任以外にも、気軽に相談できる先生がいますか-----79.3
 13 先生は、あなたが頑張ったこと(できたこと)を、褒めてくれますか-----79.3
 15 先生は、将来（進路のことなど）について、教えてくださいか -----75.3
 16 先生は、政治や選挙について、分かりやすく教えてくださいか -----70.5
 6 あなたは、通学バスの中やバス停自力の時に困ったことはありますか【70.5】-----29.5

【高等部生徒】

- 16 先生は、政治や選挙について、分かりやすく教えてくださいか -----80.0
 3 あなたは、担任以外にも、気軽に相談できる先生がいますか-----78.8
 5 あなたは、病気や怪我のときに、保健室に行くと安心できますか -----76.7
 6 あなたは、通学バスの中やバス停自力の時に困ったことはありますか【43.5】-----46.5
 7 あなたは、自力通学中、困ったことはありますか（完全自力通学生のみ回答）【54.2】-----45.8

③評点の分布



(生徒の評点分布について)

→「あなたは、通学バスの中やバス停自力の時に困ったことはありますか」(中学部 29.5%, 高等部 46.5%)と
 「あなたは、自力通学中、困ったことはありますか」(完全自力通学生のみ回答)(高等部 45.8%)
 の設問に関しては評点が低い方が、困っていないことになるので、分布表では100から引いた数を評点として用いた。

4. 考 察

【保護者】

① 学部ごとにはわずかな変動があるものの、ほとんどの項目で 80 点以上の高い評価をいただいております、本校の教育活動についてほぼ肯定的に捉えていただいていると思われる。

② **設問 15「学校は子どもが学習しやすいように施設・設備が整えられている」**…………… 76.2

これについては、4 年連続 70 点台に留まっている。

→児童生徒の増加に伴い、セラピー室が無くなったままで、図書室の機能は生活訓練室に移されたことも要因になっていると思われる。

教育環境の改善については大阪府に要望しているところであるが、今後も児童生徒数の増加が予想される中、普通教室を確保することが優先課題になっている。今後も特別教室を普通教室に転用していく必要性が高く、特別教室などの施設・設備の充実は厳しい状況が続くと思われる。

今後は限られた環境の中で、ユニバーサルデザインの観点を取り入れた教室内環境整備や防災の観点からの安全・安心のための学校全体の環境整備を進めていくことが重要であると思われる。

【教職員】

① 27 項目中、70 点以上は 17 項目、80 点以上は 6 項目、90 点以上は 1 項目となっている。

→人権意識を持った対応、いじめや健康管理、実態把握に基づいた指導・支援など、直接児童・生徒に関わる基本的な事柄等については、おおむね高い得点となっている。

一方、校内研修、災害時の役割分担や訓練、学部間の引継ぎや連携、PTA に関わること、人事などを含めた学校運営に関わる事柄等については、評点が低い傾向にある。

関係分掌や各学部、首席、管理職等で課題解決に向けた具体的な方策が必要である。

② 以下の 3 項目は 50 点台となっている。

設問 14 わたしは、PTA 活動をよく理解している。…………… 56.1

→昨年度に比べて、5.5 ポイント減って 50 点台となった。

本校の PTA 活動はサマーイベント、バザーをはじめ、学校備蓄品・個人備蓄品の整備、防災への取り組み、教養進路委員会による学習会、広報委員会による PTA 新聞「わかば」の発行など、活発に活動している。さらに、これらの活動について、毎月「PTA 運営委員会だより」を保護者、教職員に配付して活動報告をしているところであるが、教職員はまだ、PTA 活動をあまり理解できていないという結果になった。

活動内容について、様々な場面でさらに周知していくと共に教職員の意見も反映させていく場面を増やしていくことが必要だと思われる。

設問 2 教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされている。…………… 55.9

→昨年度より 0.4 ポイント減であった。

校内人事は管理職が行っているが、配置の理由や決定までのプロセスがわかりにくいと感じている意見の反映と思われる。また、教職員個々の業務量や業務内容に関しては、不透明な部分が多いことに関する意見の反映であるともとらえられる。校内人事に関して、管理職による校内巡回や授業見学の機会を増やし、それぞれの適性・能力の把握に努めるとともに、各校務分掌の課題を整理し、業務の平準化をめざしていく必要がある。

設問 1 学校運営に、教職員の意見や提案が反映されるシステムになっている。…………… 51.0

→昨年度より4ポイント減であった。

校長をはじめ、管理職からの情報発信が、府や国の通達、調査依頼等が多くなり、本校の教育活動に関する教職員の実践や学校運営に関する提言について周知する機会がほとんどないことが原因であると思われる。校長への提言シートをはじめ、学校運営に関する意見を校長だより等で幅広く周知していく。

【生徒】

① 学部 17 項目中、15 項目が 70 点以上、10 項目が 80 点以上となっている。

(中学部の設問7「あなたは、自力通学中、困ったことはありますか(完全自力通学生のみ回答)」については回答者がなかった。)

高等部 17 項目中、15 項目が 70 点以上、13 項目が 80 点以上となっている。

→学校生活全般、友だち

との関係、教員の指導や支援の在り方、その関係性など、おおむね良好であると考えられる。今後も維持していきように様々な場面で、安全、安心で楽しく学びやすい学校づくりを進めていく。

ただ、このアンケートは中学部 1 グループ、高等部の作業コース及び学習 1 グループのみ対象となっているので、全の生徒に対して、細やかに目を向けて、小さなことにも気づいて対処していける教員体制の維持も必要であると思われる。

② 設問 6 の「あなたは、通学バスの中やバス停自力の時に困ったことはありますか」の設問に対して、 中学部は 29.5%、高等部は 46.5%という結果であった。

また、設問 7 の「あなたは、自力通学中、困ったことはありますか(完全自力通学生のみ回答)の設問に対して、高等部は 45.8%であった。

→ 通学バス内、家庭～バス停間自力通学中、家庭～学校間完全自力通学中に少なからず、困っていることがあるという結果となった。

児童生徒指導部を中心に、さらに詳細な聞き取り調査をするなどして、実態を具体的に把握し、改善に向けたアクションが必要であると思われる。

5. 学校運営協議会からのご意見

→PTA 活動に対する理解について

PTAとして教職員にどんなことを望んでいるのかを具体的に示す必要があるのではないか。

何をやればいいのかを明確でないと協力してもらいにくい。地域の学校は各地域での様々な行事があり、それぞれの行事に教職員も協力する場面があるが、支援学校の場合は校区が広く、いわゆる「地域」という取り組みがないので、そういった行事での教職員の参加や協力する場面がないことも要因と思われる。

→児童・生徒が年々増加してきているので、それに伴いニーズも多様化し、満足度の高い評価を得ることが難しくなっていると思われる。

6. PTA 運営委員会からのご意見

→保護者と教職員が協働する場面が増えると、PTA 活動への理解も進むのではいかと思われる。